

# 学区審議会会議概要

## 1 開催日時

平成30年8月7日（火） 午後3時30分～4時30分

## 2 開催場所

成田市花崎町760番地  
成田市役所5階502会議室

## 3 出席者

（委員）

神寄委員、江邨委員、濱田委員、松本委員、秋山委員、渡邊委員  
亀崎委員、宮田委員及び伊藤委員（欠席1名）

（事務局）

関川教育長、宮崎教育部長、高梨学務課長、大徳学務課副参事及び益田管理主事

## 4 議題

報告第1号 指定学校変更・区域外就学の状況について  
報告第2号 成田市立小学校及び中学校の児童生徒数の推移について  
その他

## 5 議事(要旨)

報告第1号 指定学校変更・区域外就学の状況について

（要旨）

平成29年度に指定学校変更の手続きを行った人数は、合計205名であった。平成30年度における新入学児童生徒の指定学校変更の手続きを行った者は、132名であった。

（主な質疑及び意見）

**委員** 本年度の新入学児童生徒の指定学校変更の状況について、例年と比較してどのような傾向にあるか。

**事務局** 昨年度は120名の新入学児童生徒が指定学校変更の手続きを行っており、本年度は10名ほど増加している。特に中学校において増加している。

**委員** 昨年度はニュータウン周辺地区での指定学校変更が多いのに対して、本年度は少なくなっているのはなぜか。

**事務局** 昨年度は全学年の児童生徒が対象で、本年度は新入学児童生徒を対象としたデータであるので、単純比較はできない。ニュータウン周辺地区内は比較的學校が密集しており、地区内で転居した児童生徒が、引き続き転居前の學校へ就学を希望し、指定學校変更を申立するケースが多いことが要因と考えられる。

## 報告第2号 成田市立小学校、中学校及び義務教育学校の児童生徒数の推移について

(要旨)

小学校については現在から平成36年度まで、中学校については現在から平成42年度までの児童生徒数の推移を報告し、将来的な学区や学校規模の在り方について、学区審議会委員から意見をいただいた。

(主な質疑及び意見)

**委員** 豊住小学校については、複式学級が平成32年度は1学級、平成33年度からは2学級以上となるが、これはどのような理由からか。

**事務局** 法律に基づくと、1年生を含む複数学年の児童数の合計が8名以下、それ以外の複数学年の児童数の合計が16名以下の場合には複式学級を編制しなければならないことになっている。本市においては複数の複式学級が解消されない場合は、複式学級における教科等に応じた学年別指導が可能になるよう、小規模学校支援教員を配置している。

**委員** 児童生徒数の推計については、市民の方への公開は行っているのか。

**事務局** 小学校の児童数の推計については、市ホームページで公開している。また、学区審議会の資料は市役所の行政資料室で閲覧することができる。

**委員** 学校規模を理由とした指定学校変更は認められるか。

**事務局** 許可基準には学校規模を理由とする要件はないので、認めていない。

**委員** 中台中学校から西中学校への指定学校変更が多いのはなぜか

**事務局** 加良部1丁目は本来中台中学校の学区であるが、希望する場合は西中学校へ指定学校変更が可能であり、この要件に基づく指定学校変更が多い。

**委員** 豊住小学校は児童数が減少傾向にあるが、今後の方向性について話し合いはしているか。

**事務局** 豊住中学校を成田中学校に統合した際、地域の方から小学校は存続させるという強い要望があり、教育委員会として豊住小学校の統合についての話し合いを持つことはしていない。今のところ、保護者の方から学区の見直しや統合へ向けての相談や意見もいただいている。

**委員** 児童生徒数の問題を、学区の変更だけで解決するのはとても難しいと考える。統廃合についても、地域の実情に合わせた慎重な取組が必要と考える。小規模校、大規模校それぞれのメリットを生かし

た教育実践を各学校で行うとともに，教育委員会からそのメリットについて保護者に伝えていただきたい。

#### その他

(委員からの提案等は、なし)

#### 6 傍聴

(1) 傍聴者

4人

(2) 傍聴の状況

傍聴要綱に反する行為は認められなかった。